



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	24,329.16	117.68	0.49	0.40	23.11	19,762.60
NASDAQ	6,840.08	27.24	0.40	-0.11	27.07	5,383.12
日経225	22,811.08	313.05	1.39	-0.03	19.34	19,114.37
上海総合	3,289.99	17.94	0.55	-0.83	6.00	3,103.64
滬深300 (CSI300)	4,003.38	32.32	0.81	0.13	20.95	3,310.08
ハンセン	28,639.85	336.66	1.19	-1.49	30.18	22,000.56
H株	11,289.57	138.84	1.25	-1.40	20.17	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.5%安と続落、本土市場は0.8%安と4週続落

香港市場ではハンセン指数が週間で1.5%安と続落。ハンセン指数は5日に終値で29000ポイントを割り込むと6日には2%超急落。イスラエルの米大使館移転問題を巡る報道を受け、中東情勢への警戒感が強まった。ただ、その後は急落を受けた値ごろ感に加え、中国の貿易統計が市場予想を上回ったことを好感して買い戻しが入った。中国本土市場では上海総合指数が週間で0.8%安と4週続落した。7日まで4日続落と軟調に推移。引き続き金融引き締めへの警戒感や資金ひっ迫への懸念が相場の重しとなった。

今週の展望:香港市場は買い戻し優勢の展開か、FOMCや中国の経済指標に注目

香港市場は買い戻し優勢の展開か。北朝鮮情勢や中東情勢を巡る地政学リスクはくすぶるものの、先週末までの下落で主力株に値ごろ感が出ており、買い戻しが入りやすい状況となっている。来年の米利上げペースを巡る思惑によっては波乱もあり得るが、14日に発表される中国の経済指標で堅調な内容が確認できれば買い安心感が広がりそうだ。一方、本土市場は底堅い展開か。先週末までの下落で買いも入りやすいが、中央経済工作会議で金融引き締めが打ち出される公算が大きく、投資家の慎重姿勢が続くそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 万洲国際(00288)	8.68	7.03
2 恒安国際集団(01044)	79.80	5.00
3 ワーフ(00004)	26.50	3.92
4 中国平安保険(02318)	78.40	3.84
5 テンセント(00700)	394.00	2.34
6 中国蒙牛乳業(02319)	20.35	1.85
7 九龍倉置業地産(01997)	49.50	1.64
8 長江インフラ(01038)	67.30	0.82
9 碧桂園(02007)	12.98	0.78
10 銀河娛樂(00027)	57.50	0.17

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 舜宇光学科技(02382)	116.00	-12.12
2 ファイ・コム(00762)	10.62	-6.84
3 吉利汽車(00175)	25.70	-6.55
4 恒基兆業地産(00012)	48.25	-4.55
5 信和置業(00083)	13.46	-4.54
6 新鴻基地産(00016)	121.50	-4.33
7 華潤電力控股(00836)	14.02	-4.23
8 東亜銀行(00023)	32.80	-4.23
9 招商局港口(00144)	19.78	-4.21
10 太古A(00019)	73.10	-3.75

▼今週の主なイベント

- 12月12日(火)
- 【米国】FOMC(～13日)
- 12月14日(木)
- 【中国】小売売上高、鉱工業生産(11月)、固定資産投資(1-11月)

▼今週の期待材料

- ◆11月の中国の米ドル建て輸出は前年同月比12.3%増、輸入は同17.7%増とともに市場予想を大きく上回る
- ◆香港市場への資金流入が継続、ジェフリーズによると海外からの香港株への資金流入は12週連続
- ◆先週末までの下落でハンセン指数に値ごろ感、足元で大きく下落した銘柄を中心に買い戻しも

▼今週の懸念材料

- ◆中央経済工作会議が週内に開催の見通し、金融引き締めへの警戒感が強まる可能性も
- ◆米トランプ政権がエルサレムをイスラエルの首都として認定、中東情勢の新たな火種になる公算
- ◆中国人民銀行の公開市場操作で先週は差し引き5100億円の資金を市場から吸収、短期金利も上昇

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤電力控股 (00836) : 11月の電力販売量が10%増と伸び率加速、1-11月は5%増
- ☆ 華能新能源 (00958) : 11月の発電量が26%増と好調、太陽光発電は34%増加
- ☆ 華潤置地 (01109) : 11月の不動産販売額が49%増加、販売面積は5%増
- ☆ BYD (01211) : 深センのタクシー会社にEVタクシー3191台を納入
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 音声技術の科大訊飛と戦略提携、スマートカー事業を強化
- ☆ 中国建築国際 (03311) : 1-11月の新規受注が25%増加、通期目標の99%を達成
- ◇ テンセント (00700) : 音楽配信サービスでスウェーデンのSpotifyと資本提携
- ◇ ゴールデン・イーグル (03308) : 親会社から吉林金鷹正業置業の権益51%を取得
- ◇ 衆安在線財産保険 (06060) : フィンテックなどの海外事業開拓でシノリンクと合併
- ★ 中国航天万源国際 (01185) : 17年12月本決算は赤字転落との見通しを発表

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。